

Ⅷ 各特定課題の取組を推進するための協働・普及啓発

<主要施策の取組状況>

1 丹沢大山自然再生委員会を通じた連携

①自然再生プロジェクトの推進

- 平成 21 年度より、県とサントリーホールディングス株式会社が協働で「サントリー天然水の森丹沢」自然再生プロジェクト（以下、自然再生プロジェクト）を開始した。現在に至るまで、水を育む豊かな森づくりを目指し、丹沢県有林で森林整備を行っている。
- 自然再生プロジェクトでは、スギやヒノキの人工林に広葉樹が混交するように、群状伐採〔0.04ha〕や定性間伐〔1.34ha〕等を行った。また、「溪畔林整備の手引き（平成 29 年 3 月）」を活用し、令和元年度に整備をした溪畔林で下刈りを行った。
- 自然再生プロジェクトを進めるにあたり、森林整備とともに動植物調査を行った。過去に整備をした場所において植生保護柵の有無で比較し、植生の変化や野生動物の生息状況等を確認した。その結果、植生保護柵を設置したところでは草本層の回復が見られ、クマイチゴ、モミジイチゴ、ニガイチゴといった、ニホンジカやノウサギの嗜好性植物の繁茂が確認できた。これに伴い、植生保護柵内におけるノウサギの出現頻度が増加したことも確認できた。一方、植生保護柵を設置しなかったところでは、ニホンジカの採食圧が高く植生の回復が困難な状況であった。このような状況を踏まえ、今後も継続し調査をする予定である。



サントリー「天然水の森丹沢」
自然再生プロジェクト(清川村)

②重点 団体等との協働による自然再生の取組の推進

- 丹沢大山に係る自然再生の取組みについて普及啓発を図るため、自然環境保全センターは丹沢大山自然再生委員会（以下、再生委員会）の事務局として、各団体が開催するイベントに対して協力や支援を行った。依然として新型コロナウイルス感染症が収まらない状況で、中止になったイベントもあったが、自然再生の取組みについて広く県民の方々に周知できるよう努めた。

○主な普及啓発活動

活動名称	開催日・場所	内容	来場者数
コリドー(緑の回廊) (植樹)	春：R3.4.24 秋：R3.10.23 (菩提峠)	多様な生命を育む森林の再生を図るため、市民ボランティアの力で丹沢の自然環境保全を推進する	春：106名 秋：288名

○主な普及啓発活動(続き)

活動名称	開催日・場所	内容	来場者数
第65回秦野丹沢まつり	中止	-	-
丹沢フォーラム	春: R3. 4. 18 (札掛・境沢流域) 秋: R3. 11. 13 (札掛・境沢流域)	春: 渓流域の自然環境 自然再生の現地を訪ねる 秋: これまでの植樹地を訪ねる 植栽木の成育、植樹地の変化を見る	春: 46名 秋: 54名
地球環境イベントかみかみエコ10 フェスタ 2021	中止	-	-
森林霜防 「丹沢の晩秋を弘法山ハイキングで楽しむ」	R3. 11. 27 (弘法山: 秦野市)	弘法山ハイキング (自然観察、野鳥観察等)	16名
ワールドフェスタ・ヨコハマ2021	中止	-	-
丹沢大山自然再生活動報告会	R3. 12. 18 (県自然環境保全センター)	オンライン(zoom)形式で開催 第一部: 活動・研究発表 第二部: 総合討論	約70名

③ F S 学校教育との連携等による自然再生の担い手づくり

- 自然環境保全センターは、環境学習活動を通じた自然再生の担い手づくりを推進するため、NPO 法人丹沢自然保護協会主催の「森の学校」に再生委員会を通じて協力した。自然体験や調査活動等により、小中学生を対象に自然体験や調査等を通して自然の仕組みについて知ってもらうよう努めた。また、例年、森林環境教育にも協力をしているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となった。
- 令和元年度より「高校生と取り組むレンジャー（巡視）体験」のイベントを県立高校体育連盟と再生委員会が連携して開催している。県内の登山部に所属する高校生を対象に、県職員が自然公園や自然再生の取組みに関する説明やクイズをする予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントは中止となった。



NPO法人丹沢自然保護協会
「森の学校」(清川村)

○環境学習の推進活動

活動名称	開催日・場所	内容	来場者数
森の学校	夏：中止 冬：R3.12.27～29 春：R4.3.28～30 (札掛・丹沢ホーム)	子ども達が自然の中で生活し、野生動物の生態や役割を学ぶことで自然の仕組みを知り、また動物や植物の生活史を通して、人間と丹沢の自然環境の関わりを学んだ。	夏：－ 冬：24名 春：28名
森林環境教育	R3.11.1	将来の丹沢の自然環境の保全・再生を担う人材を育成するため、県内の小学生を対象に現地見学を実施し、丹沢の自然に親しみながら、自然環境に対する理解を深めた。	24名
高校生と取り組むレンジャー(巡視)体験	中止	－	－

2 県民協働の枠組みを通じた連携

①重点 丹沢大山クリーンピア 21※1、丹沢の緑を育む集い※2、丹沢大山ボランティアネットワーク等による連携・協力

- ・ 丹沢大山クリーンピア 21によるクリーンキャンペーン〔参加団体：49団体、参加者：1,136人、ゴミ収集量：1,556kg〕のほか、協働事業への参加・協力をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、丹沢大山ボランティアネットワークにおける事業は中止となった。
- ・ 丹沢の緑を育む集いにより、植樹（菩提峠周辺）〔参加者数：394人〕を行った。

- ※1 丹沢大山クリーンピア21 丹沢大山地域周辺の良好な自然環境の保全に寄与するため、ゴミの持ち帰り運動を推進することを目的として、企業・各種団体及び行政機関等の協力のもと設立された。
- 2 丹沢の緑を育む集い 丹沢大山地域で植樹事業やウラジロモミ等をシカの影響から守るための防護ネット設置事業などをボランティアとの協働で行っている各種団体及び行政機関で構成されている。

3 協働・普及啓発の拠点の活用

①神奈川県自然環境保全センターの自然再生活動への活用促進

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、フィールドスタッフ（自然保護と自然体験の指導者）として活躍する人材を育てる養成講座及び身に着けた知識や技術を発揮する活動実践の場であるミニ観察会等の行事は、中止となった。
- ・ 丹沢の自然再生の取組みに関する本館展示室のミニシアターの



ミニシアター映像コンテンツ
「かながわパークレンジャーと歩く丹沢大山」

映像コンテンツ「かながわパークレンジャーと歩く丹沢大山」を制作した。これを視聴することで、パークレンジャーの仕事や丹沢の自然について、より深く知ることができる内容となっている。また、より多くの県民に丹沢の魅力を知ってもらえるよう、この動画を YouTube 県公式チャンネル「かなチャン TV」に投稿した。

- ・ 本館 2 階で自然再生に関するパネル等を展示する「企画展」を開催し、丹沢の自然や歴史、文化等に関する普及啓発を図った。[自然環境保全センター利用者数：14,920 人]

○本館 2 階で開催した企画展

開催期間	テーマ
R3. 4. 27～R3. 5. 23	花粉の少ない森づくり -全国初!無花粉ヒノキ『丹沢 森のミライ』-
R3. 6. 2～R3. 7. 29	秦野ビジターセンター出張展示 スタッフが見た 丹沢10年今をめし
R3. 6. 1～R3. 7. 30	丹沢ブナの四季 -いのちの世界を守る-
R3. 8. 3～R3. 9. 26	丹沢の希少植物とその保全
R3. 10. 17～R3. 11. 26	野生動物と人のより良い共生を考える
R3. 11. 30～R3. 12. 26	Woody かながわ ～広葉樹の活用による地域活性化と県民の健康増進～
R4. 1. 5～R4. 1. 30	生物多様性 『今、私たちにできること』100年先でも、問い続ける-
R4. 2. 2～R4. 3. 29	令和3年度緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクール受賞作品展

- ・ 本館図書室では、丹沢資料保存会から寄贈された図書やジオラマを活用し、定期的特集を組むなど、丹沢大山の取組や歴史をパネル等で紹介した。

○丹沢資料保存会から寄贈された図書を活用した特集棚

開催期間	テーマ
R1. 11. 14～R2. 8. 13	山岳書を読もう
R2. 8. 14～R3. 1. 25	武田久吉が見た丹沢 (前編)
R3. 1. 26～R4. 3. 27	武田久吉が見た丹沢 (後編)
R4. 3. 28～	小島烏水と山々 (前編)

②神奈川県立ビジターセンターの自然再生活動への活用 (Ⅷ-2-②)

- ・ 丹沢で活動する様々な市民団体、NPO 団体の活動拠点として、各団体が収集した情報を展示などにより来館者へ提供した。

4 自然環境・自然再生情報の蓄積と発信・活用

① 自然再生情報の提供と丹沢大山自然環境情報ステーション(e-Tanzawa)の活用

- ・ 丹沢大山自然環境情報ステーション (e-Tanzawa) を活用し、自然再生プロジェクトの活動レポート、展示物、企画展及び巡回展示の案内を掲載するなど、自然再生の取組み状況について最新の情報を提供するとともに、自然再生に関する普及啓発を促進した。
- ・ 令和2年度より自然環境保全センター独自の Twitter アカウントを取得し、自然環境保全センターの野外施設や、丹沢を中心とした山の情報等を発信している。令和3年度末時点でツイート数は 228、フォロワー数は 1,576 だった。



自然観察についてのツイート

○事業実施位置図（位置情報のある事業のみ掲載）

